

日本共産党

平野光一

●アベノミクスと市民の暮らし
 ●大企業の内部留保がふえる
 一方で、円安関連倒産の増加、非正規雇用の増加と正規雇用の減少、実質賃金の16カ月連続減少、消費支出の7カ月連続後退など、日本経済の状況を示す主なデータはどれも国民の暮らしの悪化、アベノミクスの失敗を示している。市長の認識は。

●「第一の矢」が、特に株価上昇が景気上昇感を醸成した。株式所有者の資産効果も大変大きい。初期段階では完全に評価できる。実体経済への反映はまだだが、「第三の矢」で長期的に実体経済を成長させていくのがアベノミクス。踏み出した以上ちゅうちよすることなく邁進するしかないと考える。

●教育の政治的中立性の確保
 ●独特の歴史観に立つ歴史教科書などの採択を拒んで日本教育再生機構などがつくったと見られる教育再生首長会議に市長は正式加入した。教育の政治的中立性をどう確保するか。教科書採択への首長の介入は許されないがどうか。市長が設置し招集する教育総合会議の原則公開と会議録作成・公開を文部科学省通知は求めているが市長はどう考えるか。

日下みや子

●国民健康保険事業について
 ●本市の国民健康保険料の延滞金徴収額が県内で飛び抜けて高く、しかも一世帯当たりの金額が他市よりも高いのは、長期分割納付の人の延滞金が多額に膨らんでいくからだ。本料の納入を優先し、延滞金の膨らみを抑えるべきではないか。

●原則2年以内の完納を基本に本料優先で充当していく。一括で払える人は法に照らして延滞金を減額することも可能だ。
 ●2億5800万円の延滞金徴収額があるが、どのくらいの人か、どのくらい長期に滞納しているか把握しているのか。
 ●把握していないが、平成10年代からの人やそれ以前もいる。昭和からの人は見えていない。

●下総基地対策について
 ●25年度の下総基地の騒音への苦情が本市は鎌ヶ谷、白井より大変多い。環境基準の指定地域以外の地域でも騒音測定をすべきではないか。
 ●基地直近の高柳測定局以外は環境基準の超過が見られないので、新たな地点での測定の必要性が認められないと考える。
 ●沼南公民館の維持存続を
 ●沼南公民館の近隣センター化は地域に構築された活動を後退させ、社会教育・生涯教育を後退させるのではないか。
 ●現在の利用団体が継続して使え、今以上の利用が進むよう関係部署と十分協議する。また、地域に根差した講座や人づくりを移行後も実施していく。

未来会議柏

長瀬慈村

●子育て・教育について
 ●子ども・子育て支援の現状は。学校や保育所等と地域との関係をよくするための対策は。いじめ問題対策の取り組み状況は。

●重度心身障害者医療費助成
 ●平成27年8月から、現物給付で窓口の負担がゼロになるかと思ったら3000円の負担。今までどおり自己負担をしないよう県に強く求めるべきでは。
 ●先行している子ども医療費助成制度を踏まえ、現物給付化により利便性が向上すること、受益者負担の考え方や財政状況などから、県と同様の負担額としていきたいと考えている。

●高齢者支援
 ●介護保険給付から要支援者の訪問介護、通所介護を外すとしている。要介護認定申請を抑制し、総合事業を誘導するよう窓口対応がなされているのではないか。要介護認定の省略が可能となり、チェックリストだけの判断で要支援者を減らしていく狙いがあるが、介護認定を現状どおり行うべきである。
 ●本人の意思を尊重し、要介護申請の受け付けを行う。制度移行に当たっては研修を行い、体制整備に努めていく。

柏愛倶楽部

山下洋輔

●地球温暖化対策について
 ●組織を横断して取り組みたいの体制づくりをすべきでは。
 ●担当部だけでなく、各課が連携して、施策を進めていく。
 ●柏市建築物環境配慮制度(※1)に都市計画的な視点を。と、市の監査体制の充実が必要ではないか。
 ●監査を通じて理事会の機能が発揮されるよう指導する。また、指導監査体制を充実する。
 ●柏の葉キャンパス駅駐輪場
 ●駐輪場利用者アンケートは、不満の声が圧倒的だった。今後どう改善していくのか。
 ●利用しやすい駐輪場となるよう、柏市まちづくり公社に働きかけていく。

●健康・福祉について
 ●エポラ出血熱対策の現状は。睡眠剤等の大量取得への対策は。地域包括ケアシステムの取り組み状況と介護予防の現状は。
 ●万一国内で感染者が出ても

●市立柏病院建てかえ
 ●平成26年11月24日の市民説明会では移転反対が圧倒的多数だった。移転方針は撤回すべき。
 ●苦渋の選択として柏の葉への移転を示した。引き続き説明

政策の判断ができてくるか。

重要なこと

●重要なことと考える。教育政策の効果測定し、検証結果を予算に効果的に生かしていく。
 ●図書館について
 ●小中学生向けの本や学習支援など居場所づくりを。
 ●図書館と学校の連携を進め、図書館でも支援していく。
 ●文化財の保護と活用について
 ●史料をデジタル化し、災害に備え、市民協働で翻刻作業を。デジタル化は必要と考える。
 ●市民との協働も検討する。
 ●職員の残業について
 ●タイムカードのデータを分析し、業務の改善をすべきでは。
 ●指摘のとおり取り組みたい。
 ●公用車の事故対策について
 ●ドライブレコーダーを活用した具体的な取り組みは。
 ●データを分析し、研修を実施。地域の事故も抑制する。
 ●小学生から提案のあった、農

●子育て支援について
 ●一時預かり保育の拡充を。検討する。気軽に相談できる場所や体制はつくっていく。

●子育て支援について
 ●一時預かり保育の拡充を。検討する。気軽に相談できる場所や体制はつくっていく。



市内に7カ所ある地域包括支援センター

●安心・安全について
 ●公用車事故対策の取り組みは。
 ●職員に実技講習を適宜受講させ、平成26年11月から民間企業と共同でドライブレコーダーを設置し事故防止を図っている。

●あるまちづくりについて
 ●親子で遊び、体験できる農園の取り組みを。
 ●耕作放棄地などを活用して、積極的に進めたい。
 ●高齢者の体験を伝える世代間交流の場づくりを。
 ●手賀沼周辺で農業の拠点をつくり、そこで実現させたい。
 ●子育て支援について
 ●一時預かり保育の拡充を。検討する。気軽に相談できる場所や体制はつくっていく。



公用車に設置されたドライブレコーダー

※1 柏市建築物環境配慮制度=環境性能の優れた建築物を整備・促進することを目的に、建築主の環境配慮に関する自主的な取り組みを促すもの。
 ※2 スクールソーシャルワーカー=教育の分野や社会福祉に関する専門的な知識や技術を有し、いじめや不登校などの課題解決を図る人材。